

令和5年度天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

態本県ラウンド 開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会

共 催 一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

後 援 熊本日日新聞社、熊本県高等学校体育連盟(予定)

主管振本県バレーボール協会

協 賛 株式会社カプコン、久光製薬株式会社、全日本空輸株式会社、中央日本土地建物グループ株式会社 アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社

オフィシャルボール株式会社ミカサ、株式会社モルテン

開催 趣 旨 本大会は、本協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を 冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を 通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開

催する。

2 開催期間 令和5年7月9日(日)

3 会 場 熊本県立総合体育館

5 競 技 規 則 令和5年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

6 競 技 方 法 原則として3セットマッチのトーナメント戦とする。 ※優勝チームはブロックラウンドへ出場する

九州ブロックラウンド: 9 月 23 日(土)~ 9 月 24 日(日): 佐賀県

7 使 用 球 天皇杯・皇后杯大会オリジナル球をコート面数につき男女1球ずつ実行委員会から支給し適宜使用する。 ※上記以外は通常のモルテン・ミカサボールを使用する

男子:モルテン製(V5M5000)/女子:ミカサ製(V300W)

8 チーム編成 1チームは、チームスタッフ(①部長、②監督、③コーチ、④マネージャー、⑤トレーナーを各1名)、選手18名以内とする(トレーナーは、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー資格保有者)。 ただし、必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。申込み後の選手エントリー変更は認められない。 なお、各試合の選手14名の登録は各試合の60分前までに定められた用紙に記載し、エントリー受付係に提出する。監督・コーチ・マ

ネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1~4の有資格者とする。 大会参加時には、資格を証明する登録証等を携帯すること。なおスタッフの変更届は代表者会議終了時までと し、大会期間中を通してスタッフの変更は認められないので十分に注意すること。またリベロプレーヤーの登録 は下記表のとおりとする。

チーム登録人数	リベロ登録数
12 名以下	0~2名
13 名	1~2名
14 名	1~2名

外国籍選手のエントリー(18名)の際は、Vリーグ規定を適用し、各A・B・C登録の外国籍選手の3名迄が登録可能で、オンザコート3名とする。なお出場するすべてのチームに適用する。

9 参 加 申 込 <mark>参加申込は、MRSシステムで6月30日(金)までに申し込むこと。(推薦されたチームで参加できない場合は、理</mark> 由をご連絡下さい。)期限遅れや電話での申込は受け付けません。

10 申込方法・締切 令和 5 年 6 月 30 日(金)

11 代表者会議 令和 5 年 7 月 9 日(日) 9 時 00 分~ 会場:熊本県立総合体育館

12 抽 選 会 令和 5 年 7 月 2 日(日) 熊本県バレーボール協会で行う

13 開 会 式 <mark>実施しない なお、第1試合プロトコル開始時刻は9:30を予定する</mark>

14 表彰・閉会式 競技終了後各コートにて行う

他・参加料は各カテゴリーともに8,000円とし、当日受付時に支払う事。

- 審判については一部の試合を、補助役員については全試合を各チームに割り当てるので準備しておくこと。
- ・ 大会参加者は、自己管理につとめること。また、選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受止め十分留意すること。なお、競技中の負傷については、応急処置は行なうが、以後の責任は負わない。
- 大会のスポーツ障害保険については、主催者で加入する。
- チームスタッフの変更のみ、第一試合の開始前までに競技委員長へ報告すること。
- 会場の駐車場は、駐車スペースに限りがあるので出来るだけ乗り合わせをお願いする。
- ・ 大会参加者及びその関係者(応援者含む)は、会場使用のルールを厳守すること。
- ・ 冷房については、基本使用しない。(状況によって使用する場合は、チームへ一部負担をお願いする)
- ・ 感染症対策に十分留意の事

※ 本大会の問合せ

15 そ